

高松市総合教育会議

令和6年 2月15日

サンクリスタル高松の リニューアル事業の概要と 3館連携について

教 育 局 中央図書館
創造都市推進局 文化財課

I サンクリスタル高松リニューアル事業について

1. これまでの経緯

平成4年11月に開館したサンクリスタル高松は、1、2階に中央図書館、3階に菊池寛記念館、4階に歴史資料館が入る複合施設であり、市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与するほか、生涯学習の場として重要な役割を担ってきた。

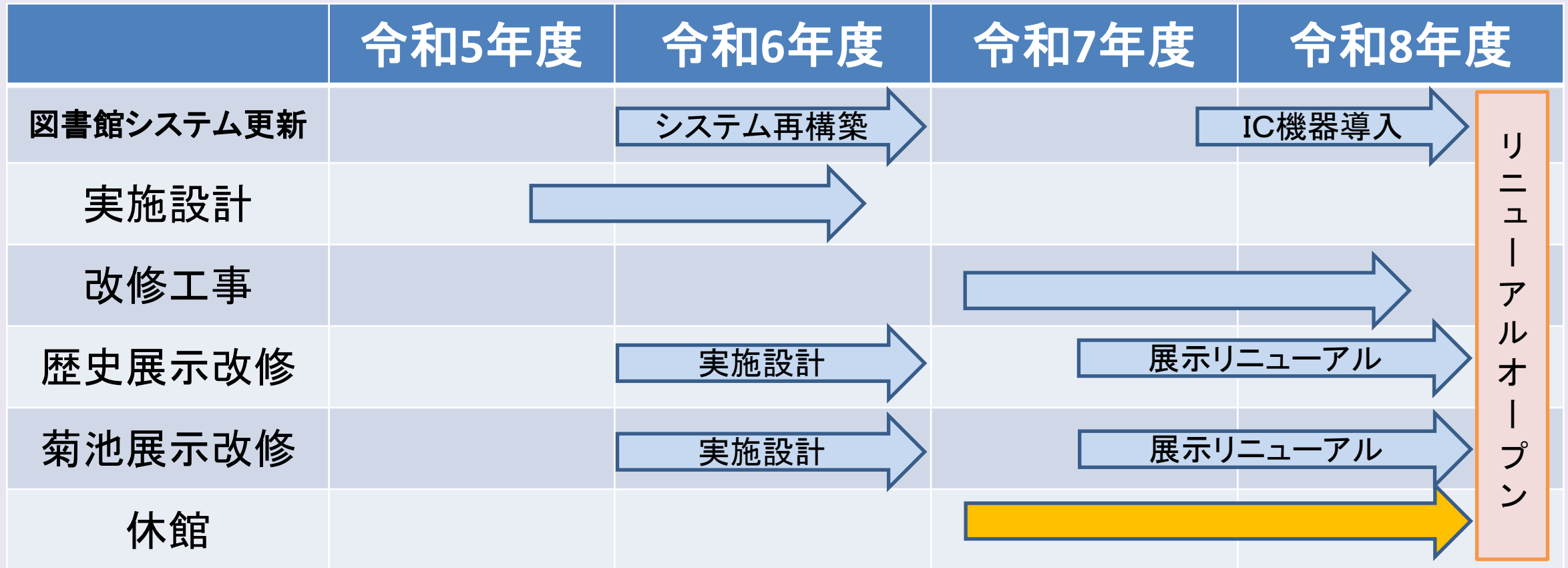
建設後30年が過ぎ、老朽化が進んでいるため、今後も安全・安心に利用できるよう改修が必要であるとともに、少子高齢化・デジタル化の進展等、社会情勢の変化に対応できる施設にリニューアルする必要がある。

このことから、令和2年度から「サンクリスタル高松在り方検討事業」として検討を開始し、施設の劣化診断調査を実施した後、3年度には、市民や関係機関からの意見聴取を行い、「サンクリスタル高松リニューアル基本構想」を取りまとめた。

「サンクリスタル高松リニューアル基本構想」では、劣化診断の結果に基づき、電気設備、機械設備等の改修工事を行い、施設の長寿命化を図るとともに、内装の刷新も行い、利用者が安心、安全に利用できる施設とすることと、サンクリスタル高松を多くの市民に知ってもらい、全体の来館者数の増加につなげることが目標として掲げられている。

I サンクリスタル高松リニューアル事業について

2. スケジュール



図書館システム更新は、6年度に実施。

建物は5年度から6年度にかけて実施設計、7年度から8年度にかけて工事を行う。

合わせて歴史資料館、菊池寛記念館でも展示リニューアルを行い、8年度中のリニューアルオープンを目指す。

I サンクリスタル高松リニューアル事業について

3.リニューアルのポイント

○中央図書館

- ・電気設備、機械設備等の改修工事を行い、施設の長寿命化を図るとともに、ICT化に伴うレイアウト変更や美装も行う。
- ・図書館システムの更新に合わせ、ICタグ及び自動貸出機、セキュリティゲートなどのICT機器を導入することにより利用者の利便性を高めるとともに非接触型サービスの提供や不明本対策を図る。
- ・自動貸出機を各階に設置することで、現在4つあるカウンターを集約し、司書は専門的な知識を生かす選書やレファレンス業務を中心に行い、質の高い図書館サービスを提供する
- ・誘導サインの絵文字化やトイレの洋式化など、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備を行い、障がい者や高齢者等も利用しやすい工夫をする。



自動貸出機（参考：オーテピア高知）



セキュリティゲート（参考：玉野市立図書館）

I サンクリスタル高松リニューアル事業について

3.リニューアルのポイント

○中央図書館

- ・ エントランスの床をフローリング風に変更したり、窓に向いたカウンター席を設けるなど、誰もが気軽に図書館に集い、居心地の良い空間で読書や貸出用タブレットを利用した情報収集ができるなど長時間滞在し、楽しめる空間を創出し、利用者、特に若者が利用しやすい図書館を作る。
- ・ 外からも見えるエントランスの特色を生かし、本に関するトークイベントやワークショップ等を開催し本をキーワードとして人と人が交流できる場を作る。
- ・ 書架やエントランスの調度に県産木材を活用したり組手細工や庵治石、庵治ガラスなどを館内の調度品の一部に活用するなど、高松市らしさを演出する。



窓に向いたカウンター席（参考：オーテピア高知）



人と人との交流の場（参考：瀬戸内市立図書館）

I サンクリスタル高松リニューアル事業について

3.リニューアルのポイント

○歴史資料館

【常設展示室】

- ・展示レイアウトの部分的な変更
- ・展示パネルを見やすい仕様に変更
- ・映像機器類・照明機器の更新

歴史的な新しい知見を加えることや、解説パネルを見直すことで、**より充実した内容の展示に更新**

【企画展示室】

- ・壁紙の貼り替え、展示ケースの照明類の更新

【学習室】

- ・映像機器類・照明類の更新
- ・収納スペースの構築

【受付・ロビー】

- ・自然光侵入対策の実施

【収蔵庫】

- ・収蔵庫内の照明をLED化



常設展入口の導入部分の更新



常設展 レイアウトの変更予定箇所



常設展 映像機器類の更新等予定箇所



ロビー 自然光侵入対策予定箇所

I サンクリスタル高松リニューアル事業について

3.リニューアルのポイント

○菊池寛記念館

【常設展示室】

- ・見やすく展示替えのしやすい展示ケースに変更
- ・芥川賞・直木賞作家等の展示方法の見直し
- ・デジタル機器、照明機器等の更新
- ・グラフィックの充実、表示サインの更新

菊池寛の業績をより見やすく、分かりやすい展示に更新

【入口、受付付近】

- ・受付場所の移設等によるスペースの有効活用

【研究・閲覧室】

- ・郷土ゆかりの作家等展示の更新、充実

【階段、エレベーターからの導入部分】

- ・誘導用グラフィック表示によるアプローチ改善



常設展示室（菊池寛の生涯、文学等）



常設展示室（芥川賞・直木賞作家コーナー）



研究・閲覧室（郷土ゆかりの作家コーナー）



階段、エレベーターからの導入部分

Ⅱ 3 館連携事業について

1. サンクリスタル学習

○事業内容

- ・平成5年度から開始した来館型の学習。対象は高松市内の小学校の5・6年生。
- ・図書館学習・歴史学習・文学学習に資することを学習の目的とする。
- ・各館の司書・学芸員等が講師となり、館内を案内する。
- ・図書館では施設見学や図書の貸出しを行う。歴史資料館では常設展の見学をとおして高松の通史を学ぶ。菊池寛記念館では菊池寛の生涯を紙芝居から学ぶことや常設展を見学する。
- ・希望校に対しては、午後から美術館学習か屋島学習を実施。

○効果

- ・公共施設の利用方法を学ぶことができる。
- ・郷土の偉人に関わる文学学習や高松市の通史を、実物の歴史資料をとおして学ぶことができる。



歴史資料館での学習の様子

Ⅱ 3 館連携事業について

1. サンクリスタル学習

○経緯

平成4年度	サンクリスタル高松 開館
平成5年度	サンクリスタル学習 開始（午前中は3グループに分かれて、中央図書館、歴史資料館、菊池寛記念館の内容等を職員（司書・学芸員）が説明。午後は、自由時間として読書や自由見学）
平成18年頃	午後から他施設見学 開始（学校が直接施設と調整する） ＜官公庁関係施設等＞ 香川県社会福祉総合センター、高松地方裁判所、アイパル香川、香川県立ミュージアム、香川大学 等 ＜民間施設＞ あなぶきカレッジ
平成19年頃	高松市美術館の施設見学 開始
平成26年度	屋島学習 開始
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響で、来館型学習を中止。代替えとして、希望校に対して出前講座の実施等を行う。
令和3年度	来館型学習を再開

Ⅱ 3館連携事業について

1. サンクリスタル学習

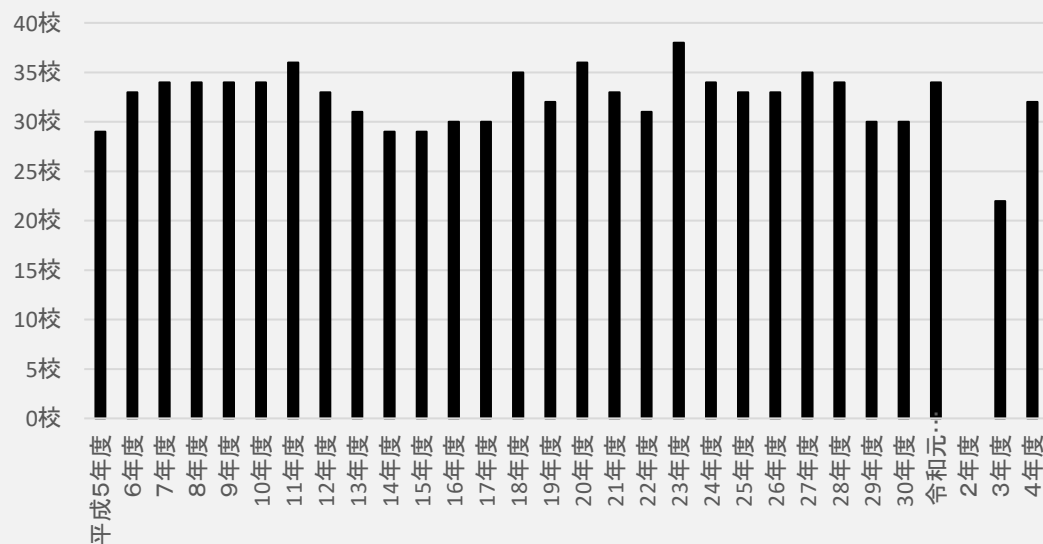
○参加校数及び人数の推移

- ・平成5年度～令和4年度の参加校及び参加者数の推移は下記グラフのとおり
- ・令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止等があった。
→令和2年度は来館型学習を中止した代替えとして、希望校に対して3館職員が小学校を来訪する出前講座等を実施（参加校：10校、参加者数976人）
- ・参加校数は約30年間でほぼ横ばい。参加者数は減少傾向。

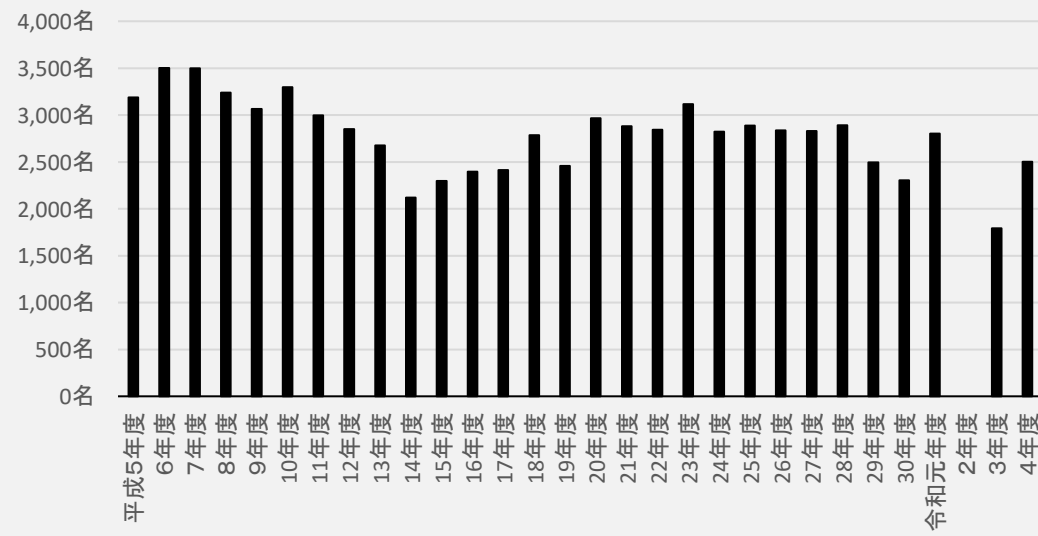
○今後の目標

- ・魅力ある学習に更新することや教育委員会と連携して小学校に周知するなどして、参加校数の増加を目指す。

参加校



参加者数（児童・引率者）



Ⅱ 3館連携の現状

2. イベントでの連携

- 歴史資料館や菊池寛記念館の企画展に合わせて、中央図書館での関連図書の展示
- 子ども読書まつりでの、歴史資料館、菊池寛記念館による体験ブースの設置や、サンクリスタル全館をめぐるスタンプラリーの実施
- サンクリスタル全館を使った季節ごとの展示
 - 「うさぎを探せ」
 - 「節分のお面づくり」
- 3館が連携したイベントの開催
 - 「新春かるた大会」
 - 「サンクリおたのしみブックをどうぞ!」
- ボランティア養成講座の共同開催

など



新春かるた大会



サンクリ
おたのしみブックをどうぞ!

Ⅱ 3館連携について

3. リニューアル後の取組（案）

○周知広報の充実

- ・ 3館連携のホームページや公式SNSを作成し、取組や催しを周知
- ・ キャラクターやロゴ、キャッチコピーを作成
- ・ エントランスに3館の概要や企画展示の紹介コーナー（デジタルサイネージ）を設置

○高松らしい展示

- ・ 定期的にエントランスや各館で統一テーマの展示等を行う
テーマは、うどん、盆栽、瀬戸芸、屋島、人物、建築など、シビックプライドの醸成を
情報面からサポート

○有機的な連携の推進

- ・ 図書館内に「高松の歴史コーナー」「菊池寛のコーナー」を設置
- ・ 歴史資料館、菊池寛記念館の企画展に合わせて、3、4階に特設の書架（貸出可）を設置

Ⅱ 3館連携について

3.リニューアル後の取組（案）

○サンクリスタル学習の拡充

- ・従来の小学生向けの内容をブラッシュアップ
- ・中高生向け、大学生向け、ビジネスパーソン向けを不定期開催
- ・支援学校の生徒などに向け、オーダーメイドのプログラムを作成できるよう準備

○共催イベントの開催

- ・3館が共催する講演会、映画上映会などを企画・運営
- ・図書館で実施している「調べる学習コンクール」を共同で運営、寛学賞、歴史賞の新設
- ・エントランスで3館共通・市民参加のイベントとして古本市等を開催

○その他

- ・3館でインターンシップや職場体験を受入れ
- ・エントランスでイベント、ワークショップを実施する団体を募集



他課、他施設との多様な連携に発展し、地域のコミュニティスペースとして定着する

Ⅲ まとめ

●目標入館者数

区 分	R1	R2	R3	R4
中央図書館	241,512	243,571	222,270	206,409
歴史資料館	29,582	15,934	21,391	24,676
菊池寛記念館	12,971	5,747	7,856	10,816
合 計	284,065	265,252	251,517	241,901

単位:人

R9
257,000
30,000
13,000
300,000



●今後の方向性

3館連携等の取組を進め、来館者32万人を目指す

中央図書館、歴史資料館及び菊池寛記念館、それぞれが施策を展開するとともにサンクリスタル高松の特長を活かし、3館連携事業を更に充実させ、魅力ある**「市民に役立ち愛され 地域に貢献する サンクリスタル高松」**を目指す。